

フィデリティ・ワールド・ファンズ

世界割安成長株  
ファンドルクセンブルグ籍/  
オープン・エンド型契約型  
公募外国投資信託(米ドル建)  
クラスA-ACC受益証券

2025年1月



愛称 テンバガー・ハンター(米ドル建て)

## TENBAGGER HUNTER

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは...

大和証券

Daiwa Securities

<販売取扱会社> 商号等 大和証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
 加入協会 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会/一般社団法人日本STO協会

管理会社は...



&lt;管理会社&gt; FIL・インベストメント・マネジメント(ルクセンブルグ)エス・エイ

# “流行に左右されず、市場が気づいていない 隠れた成長企業に割安な株価で投資”

## ファンドの特色

- 1 30年を超える優れた運用戦略\*
- 2 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- 3 フィデリティが世界に展開する企業調査

\*当ファンド「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の投資対象であるルクセンブルグ籍投資信託「フィデリティ・ファンズ2ーグローバル・ディスカバリー・ファンド」(マスター・ファンド)と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」とは費用等が異なります。

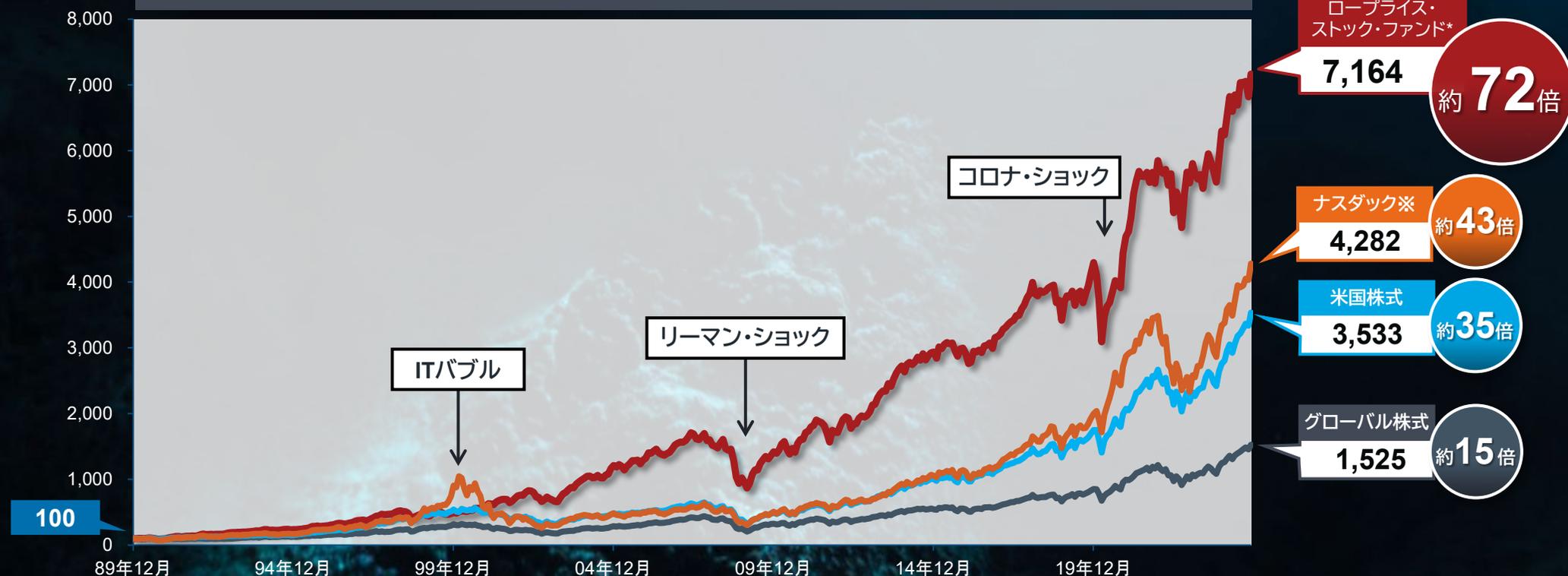
※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

参考ファンド  
の運用実績

## 30年を超える優れた運用戦略\*

- ◆ 米国において1989年12月の設定から、世界的な危機を乗り越えて、30年を超える長期間の運用実績を積み重ねました。
- ◆ 設定来で約72倍のリターン実績を持ち、これはグローバル株式、米国株式、テクノロジー株を多く含むナスダックを大きく上回っています。
- ◆ 米国における参考ファンドの運用残高は約4.0兆円です。(2024年11月末時点、1米ドル=150.19円で円換算)

「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」(参考ファンド)と主要な株式指数の推移



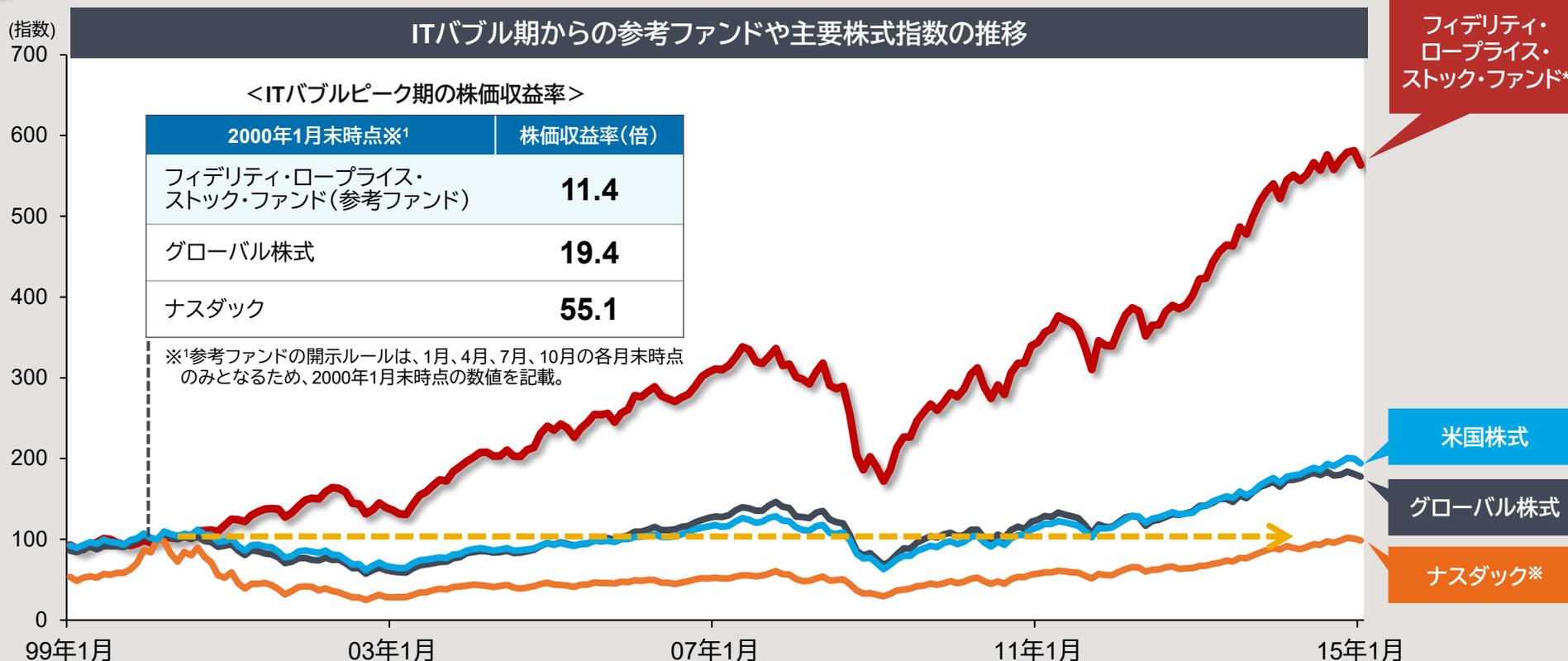
(注)FMR Co.、LSEGよりFIL Limited作成。米ドルベース。期初を100として指数化。グローバル株式はMSCI「ワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。期間は設定日(1989年12月27日)~2024年11月末の月次データ。  
※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

\*当ファンド「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の投資対象であるルクセンブルグ籍投資信託「フィデリティ・ファンズ2-グローバル・ディスカバリー・ファンド」(マスター・ファンド)と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」とは費用等が異なります。

# ITバブルを乗り越えた投資戦略

## 参考ファンドの運用実績

- ◆ ITバブル期、ナスダックは2000年2月に高値(月次ベース)をつけた後に下落基調となりました。ナスダックが同じ水準まで回復したのは2014年11月と、14年超の期間を費やしました。
- ◆ その期間、米国で運用している同様の戦略ファンド「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」(参考ファンド)は、割高なIT関連株への投資を避け約5.8倍まで成長しました。グローバル株式は同じ期間で約1.8倍でした。



(注) FMR Co、LSEGよりFIL Limited作成。株価収益率は株価/1株あたり利益。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。期間は1999年1月末～2015年1月末。2000年2月末を100として指数化。米ドルベース。  
 ※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

\*当ファンド「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の投資対象であるルクセンブルグ籍投資信託「フィデリティ・ファンズ2ーグローバル・ディスカバリー・ファンド」(マスター・ファンド)と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」とは費用等が異なります。

# 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘

テンバガーとは株価が10倍になると期待される銘柄のことです。

元来は野球1試合で10塁打をあげることを意味する言葉で、フィデリティのポートフォリオ・マネージャーであるピーター・リンチが使い始めたと言われています。

## 継承される“テンバガー・ハンター”の系譜

私の辞書によれば、ティリングハストは、歴史を通じて最も偉大かつ成功したストックピッカーの一人である。 **ピーター・リンチ**

ピーター・リンチ

「フィデリティ・マゼラン・ファンド」を1977年から13年間運用し、約28倍という驚異的な運用実績を残し、元祖「テンバガー・ハンター」と呼ばれる。元来1試合で10塁打をあげる強打者を表現する野球用語であった「テンバガー」を、「10倍株」を表現する言葉として、ピーター・リンチが使い始めたと言われている。

## テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしたがって投資をしてはならない。  
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。割安な銘柄に投資をしなければならない。

当ファンドの  
運用担当チーム

共同運用主担当者

ジョエル・ティリングハスト\*  
(ピーター・リンチから薫陶)

共同運用担当者



サリム・ハート  
(運用調査経験: 2007年~)



モーゲン・パック  
(運用調査経験: 2003年~)



サム・シャモビッツ  
(運用調査経験: 2002年~)

(注) 2024年11月末時点。\*2023年をもって運用の第一線を退き、2024年初からシニアアドバイザーに就任。

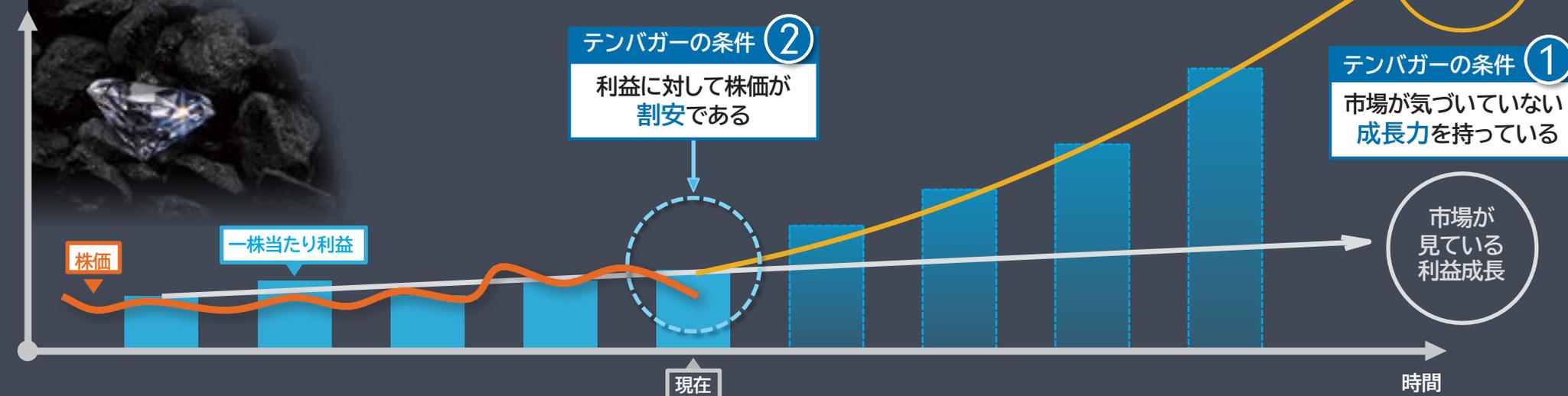
# TENBAGGER HUNTER

# テンバガー(10倍株)の原石は割安成長株にあり

“割安成長株”とは、市場が気づいていない成長力を持つ割安な銘柄です

## テンバガー(10倍株)のイメージ

1株当たり利益・株価



実力



成長

市場が気づいていない  
成長企業

- ◆ 独自の商品・サービスによる強い競争力が市場で見過ごされている。

人気



割安

割安な株価で投資

- ◆ 市場から認知されておらず、人気度が低い。

株価



利益の成長と人気度の改善の  
ダブルメリットで株価上昇

- ◆ 市場予想を超えて、利益成長を達成。
- ◆ 企業の実力が認知され、人気度が改善。

※上記はイメージであり、実績ではありません。  
テンバガーについてご理解いただくためのご参考として掲載しています。

# 参考ファンドにおける過去のテンバガー発掘事例

## 市場が気づいていない成長機会を持つ割安な銘柄を発掘した事例

日本

ワークマン

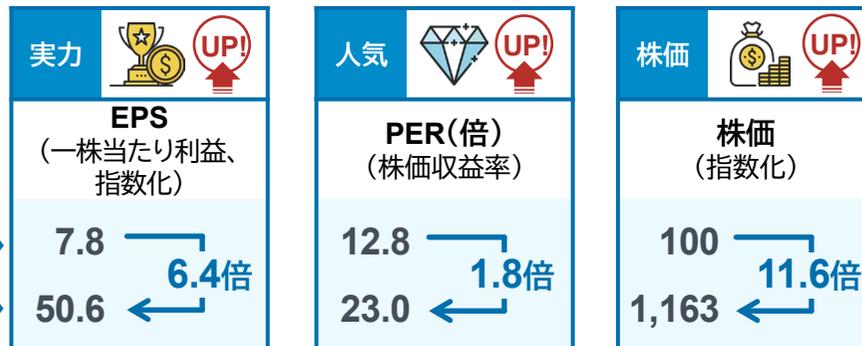
作業服、アウトドアウェアなどを扱う日本の小売企業

## ワークマンの株価・株価収益率の推移と売買タイミング



## テンバガーになるまで

- 2003年の投資開始時には、作業服を専門に販売していたため、市場から認知されておらず、割安に見過ごされていました。
- 参入障壁が高いこと、作業服はリピート顧客が多いため事業の安定性が見込めること、店舗経営の効率性などに着目し、投資を開始しました。
- 同企業は高機能・低価格商品を武器に、利益を成長させました。さらに、アスレジャーなどの高機能なアウトドアウェアを展開し、顧客層を拡大しました。
- その後、利益の成長と市場での認知度が上がり、株価は大きく上昇しました。2018年1月、割安性が失われたと判断したため、全売却しました。
- 投資開始時から売却時までには株価は11.6倍に成長しました。



(注)FMR Co、LSEGよりFIL Limited作成。期間は2002年1月末～2018年6月末。株価は配当や株式分割等を考慮し、投資月を100として指数化。現地通貨ベース。投資月、売却月は1月、4月、7月、10月末の保有銘柄開示ベース。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

当ファンド「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の投資対象であるルクセンブルグ籍投資信託「フィデリティ・ファンズ2ーグローバル・ディスカバリー・ファンド」(マスター・ファンド)と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」とは費用等が異なります。

# 組入銘柄のご紹介①

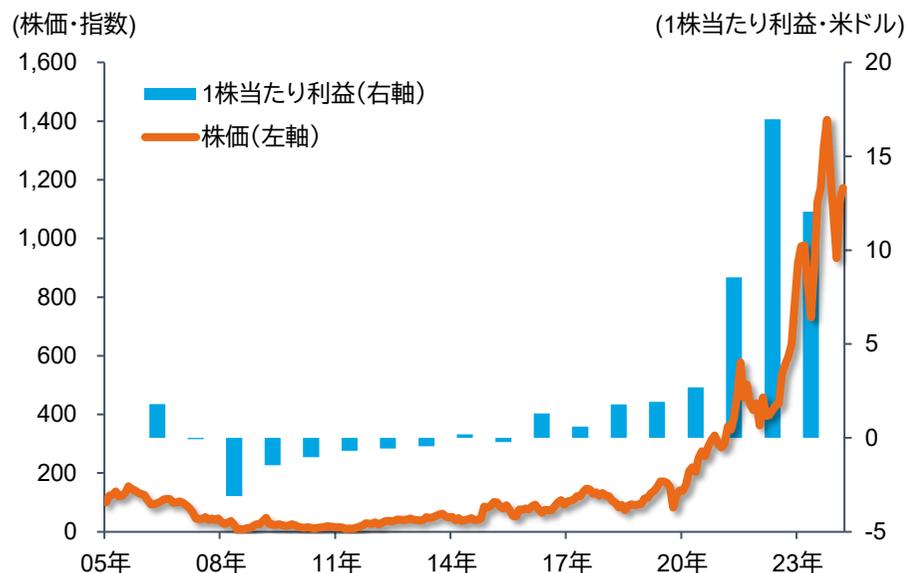
## 米国で発掘した銘柄

### ビルダーズ・ファースト・ソース

#### 米国の建築資材の製造販売



- 米国で建築資材を製造し、建設会社や工務店へ販売します。同社は全米で事業を展開する業界大手です。高機能の窓やドアなどの建築資材を拡充しています。
- 付加価値の高い資材は供給が限られている一方で、安定的に高い需要が期待されます。市場では米国の金利上昇が逆風になるとの懸念が株価の重石となっていましたが、堅調な需要が評価されました。

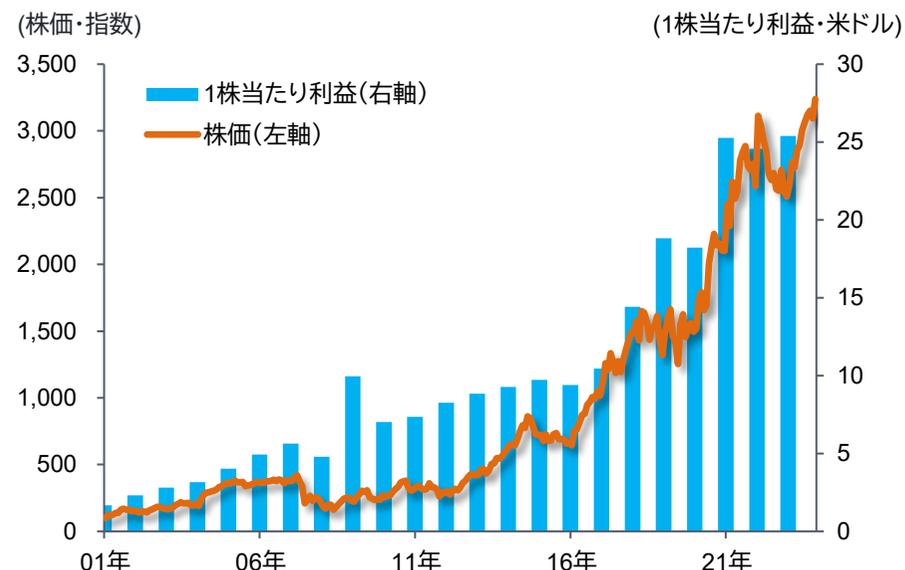


### エレバンスヘルス

#### 米国の医療保険サービス



- 米国において同社は個人や企業、政府向けに医療保険サービスを提供しています。規模と専門性が要求される事業環境において、安定した収益基盤と健全な財務基盤が特色です。
- 特色ある医療サービスの提供が功を奏し、加入者は増加傾向にあり、安定的な収益成長が期待されます。



(注) LSEGよりFIL Limited作成。期間は左図が2005年6月(上場)末～2024年8月末、右図が2001年10月(上場)末～2024年8月末。現地通貨ベース。1株当たり利益は年次データ。株価は配当込みの月次データ、期初を100として指数化。※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。

# 組入銘柄のご紹介②

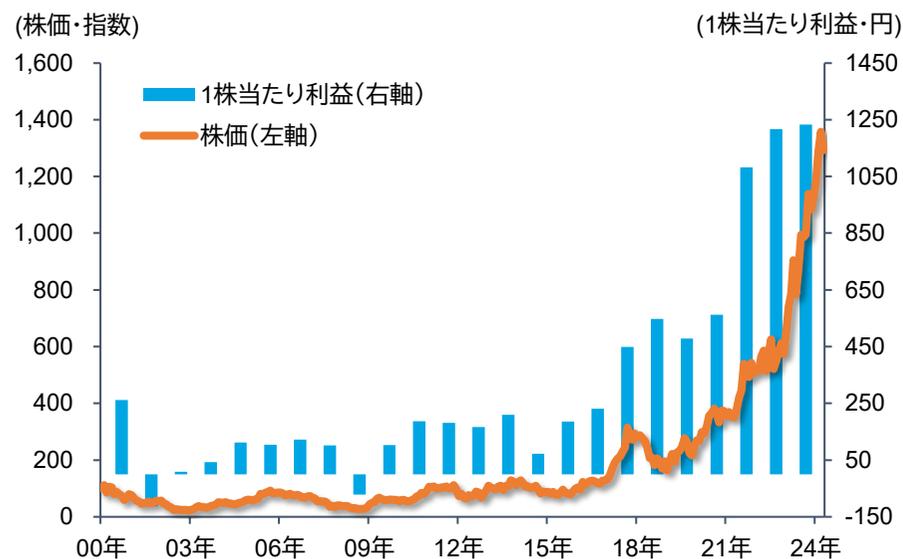
## 日本や欧州で発掘した銘柄

### MARUWA

日本の光学樹脂や電子部材



- 江戸時代から続く陶芸家の家系をルーツとし、1973年創業。愛知県に本社を置き、電子機器用のセラミックを開発・製造・販売しています。
- 高い放熱技術や積層技術を持ち、電子機器の小型化や高性能化が進むなかで、高い成長が期待されます。時価総額が小さいため、市場では見過ごされていますが、長期的に大きな可能性を秘めています。

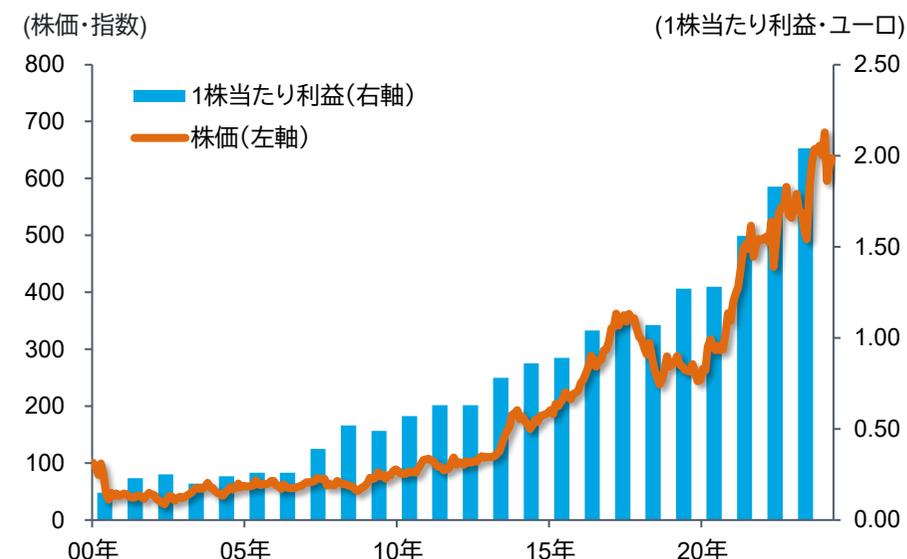


### ニューロンス

フランスのITサービス



- 情報システムの統合的な設計構築、IT機器の設備管理、セキュリティ管理などのサービスを提供するフランスのITサービス企業です。ニッチながら、デジタル化需要を捉えて、業績が拡大しています。
- ビジネスを過度に広げることなく、保守的な財務基盤を築き、売上と利益を着実にのばしてきました。市場での注目度は必ずしも高くなく、株価は割安に放置されていると考えています。



(注) LSEGよりFIL Limited作成。期間は左図が2000年5月末～2024年8月末、右図が2000年5月(上場)末～2024年8月末。現地通貨ベース。1株当たり利益は年次データ。株価は配当込みの月次データ、期初を100として指数化。※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。

# フィデリティが世界に展開する企業調査

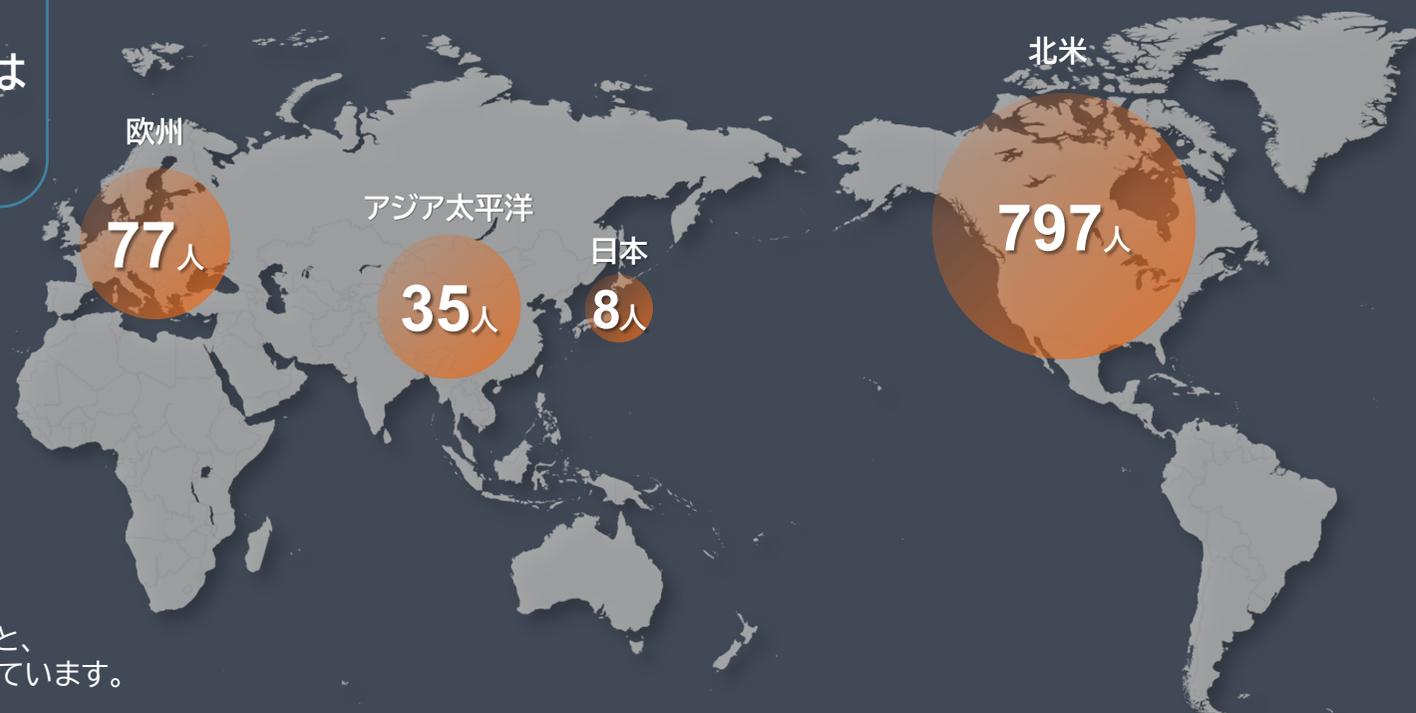
世界に約910名以上の運用調査チームを展開し、  
徹底的な企業調査によりテンバガーの原石を発掘します。

**1** 世界有数の独立系運用会社  
70年以上にわたり様々な運用戦略を提供

**2** アクティブ運用を中心に圧倒的な存在感  
約**646兆円**を運用

**3** 世界最大級の運用調査体制  
運用調査プロフェッショナルは  
世界で約**910名**以上

(注) FMR CoよりFIL Limited作成。2023年12月末時点。ポートフォリオ・マネージャー、アナリスト、トレーダー、部門マネジメント等を含んだ人数。運用資産額は1米ドル=140.98円で円換算。



FIL Limitedが所属するフィデリティ・インターナショナルと、  
フィデリティ・インバースメンツは各々が独立して経営されています。

# 世界最大級の運用会社

1946年の創業以来、徹底したボトム・アップ・アプローチにより世界最大級の運用会社へ

2023年  
4.9兆米ドル



運用資産残高 1兆米ドル突破

外資系運用会社  
初の日本進出

グローバルな企業  
調査の先駆けとして、1969年に外資  
系運用会社では初  
めて日本に進出

フィデリティの  
運用資産残高の  
推移

1946年  
創業

1969年

2001年

創業以来のボトム・アップ・アプローチの徹底

調査対象企業を多角的に分析



年間2万にもおよぶ  
企業調査レポートを作成

(注) FMR CoよりFIL Limited作成。1946年～2023年。写真はイメージです。

FIL Limitedが所属するフィデリティ・インターナショナルと、フィデリティ・インバースメンツは各々が独立して経営されています。

(注) FMR CoよりFIL Limited作成。株式運用チーム全体での2023年の作成数。

# 当ファンドの運用プロセス



\*1 投資環境や運用資産総額により変更されます。

※数値は概算値です。また予告なく変更される場合があります。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。写真はイメージです。FIL Limitedが所属するフィデリティ・インターナショナルと、フィデリティ・インベスメンツは各々が独立して経営されています。

# 組入上位銘柄 (2024年11月末時点)

## 組入上位10銘柄の概要

銘柄	国・地域	業種	特徴	比率
ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	個人向けや中小企業向けの金融サービスを提供。全米屈指の支店網を持ち、取引基盤が強固。	1.5%
PG&E	アメリカ	公益事業	米カリフォルニア州にて、電力やガスを供給。発電や送電サービスなどを提供。	1.3%
ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	米国の医療保険サービス大手。優れた経営陣の下、規模のメリットを活かし、的確なデータ分析に基づいて最適なサービスを提供。	0.9%
プリモ・ブランズ	アメリカ	生活必需品	北米を中心に、様々なチャネルで飲料水の販売や浄水器サービスなどを提供。	0.9%
レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル	アメリカ	金融	金融サービス会社。投資子会社を通じて、個人、法人、地方自治体向けにサービスを提供。米国、カナダ、その他海外諸国で事業を展開。	0.8%
アリマントーション・クシュタール	カナダ	生活必需品	カナダを拠点として、カナダや米国を中心にコンビニエンスストア等を展開。コスト競争力に優れ、成熟した業界において有効な買収により市場シェアを拡大。	0.8%
トタルエナジーズ	フランス	エネルギー	フランスに本社を置き、石油やガス、バイオ燃料、再生可能エネルギーなどを世界的な規模で生産および販売。	0.8%
コアペイ	アメリカ	金融	法人向けに決済サービスを提供しており、企業の支払業務の管理や簡素化などを支援。	0.8%
オビンティブ	アメリカ	エネルギー	米国やカナダで天然ガスや石油の探査・生産。輸送や供給元の多様化などの顧客サービスも提供。	0.7%
リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ	アメリカ	金融	生命再保険会社大手。米国に本拠地を置き、個人生命再保険や商品開発、ソリューションなどをグローバルに提供。	0.7%

## 組入銘柄数：493

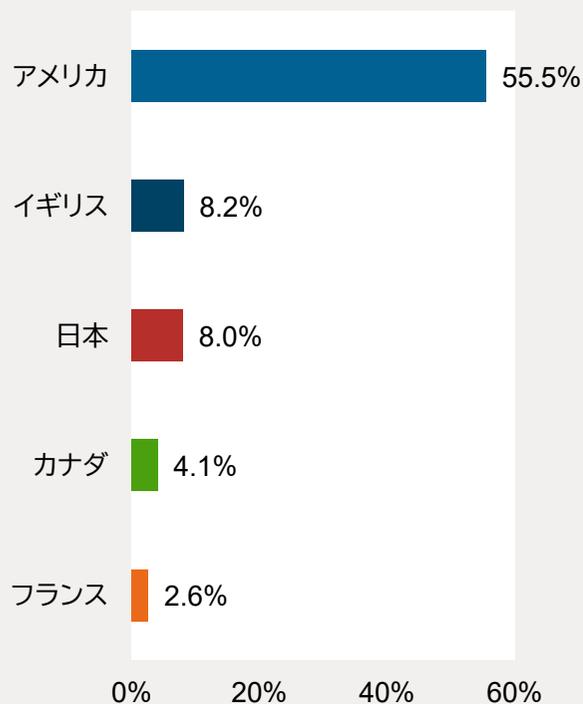
(注)FIL Limited作成。2024年11月末時点。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。対純資産総額比率。国内籍投資信託「フィデリティ・世界割安成長株投信」の実績ではありません。  
 ※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

# 国・地域、業種配分とポートフォリオ特性

幅広い国・地域や業種から、有望な銘柄を発掘します。

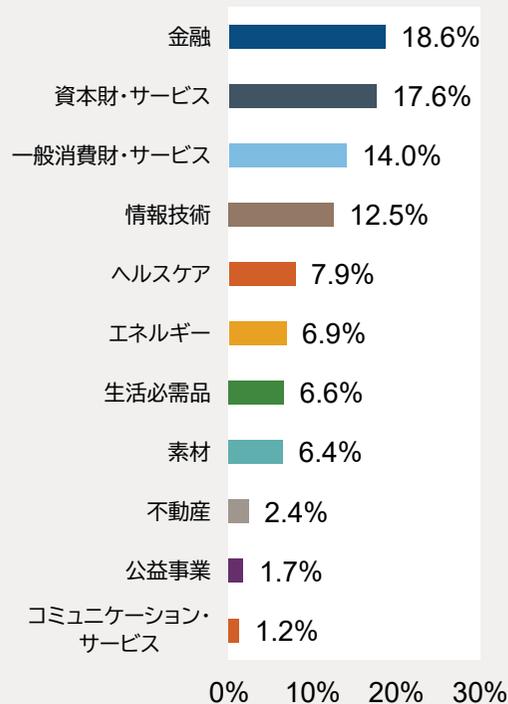
## 国・地域別配分

### 組入上位5カ国・地域



## 業種別配分

### 業種別組入状況



## ポートフォリオ特性

	ファンド	グローバル株式 (参考指数)	グローバル小型株式 (ベンチマーク)
予想株価収益率(倍)	12.3	19.7	17.4
株価純資産倍率(倍)	1.9	3.7	2.0
1銘柄当たり平均時価総額(10億米ドル)	28.7	755.3	5.5
時価総額規模別の組み入れ	ファンド (%)	グローバル株式 (%)	グローバル小型株式 (ベンチマーク) (%)
1,000億米ドル以上	6.5	57.6	0
50億米ドル以上 1,000億米ドル未満	51.5	42.3	41.4
10億米ドル以上 50億米ドル未満	33.3	0.1	51.4
10億米ドル未満	8.7	0	7.2
<b>合計</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>

(注) FIL Limited作成。2024年11月末時点。国・地域別配分および業種別配分は対純資産総額比率。時価総額規模別の組み入れは対投資資産比率。配分比率はそれぞれの項目を四捨五入して表示。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス。グローバル小型株式はMSCIワールド・スモール・インデックス。国内籍投資信託「フィデリティ・世界割安成長株投信」の実績ではありません。

(ご参考)

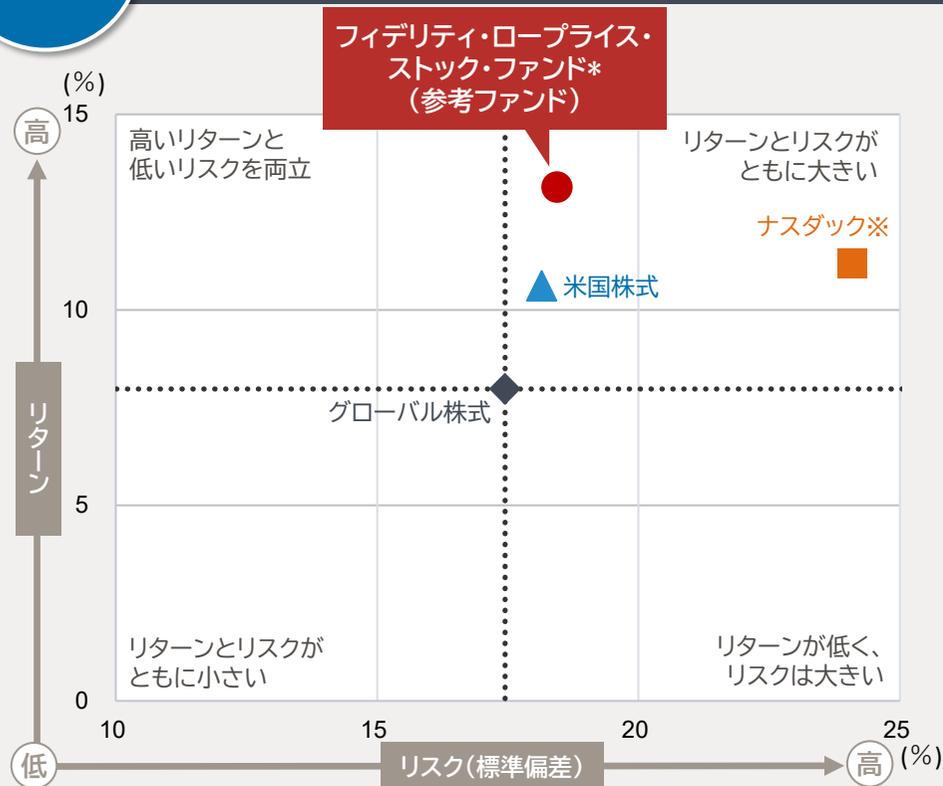
## リスク・リターン特性と期間別平均リターン(参考ファンド)

参考ファンドは、リスクをグローバル株式市場の水準に収めつつ、優れたリターンを達成しています。

過去、参考ファンドは長期の保有で安定的に大幅なリターンを獲得しています。

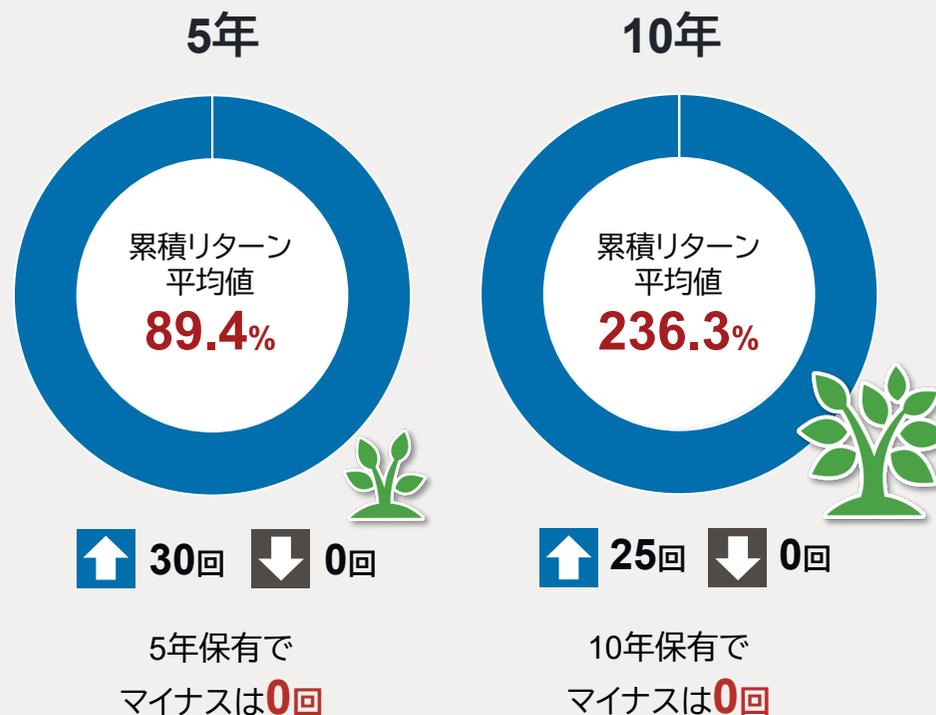
参考ファンドの運用実績

## リスク・リターン特性



参考ファンドの運用実績

## 期間別平均リターンと上昇・下落の回数



(注)FMR CoよりFIL Limited作成。左図:期間は1990年1月~2024年8月。月次リターン(米ドルベース)に基づく。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。右図:期間は1989年12月末~2023年12月末。米ドルベース。年次データ。

※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

\*当ファンド「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の投資対象であるルクセンブルグ籍投資信託「フィデリティ・ファンズ2-グローバル・ディスカバリー・ファンド」(マスター・ファンド)と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド」とは費用等が異なります。

# サブ・ファンドの目的・特色

## サブ・ファンドの目的

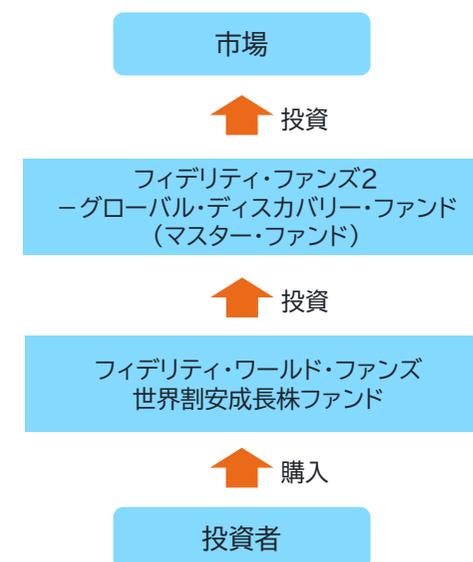
フィデリティ・ワールド・ファンズ 世界割安成長株ファンド(以下「サブ・ファンド」といいます。)の投資目的は、ルクセンブルグ籍の投資信託であるフィデリティ・ファンズ2の1ファンドであるマスター・ファンド(フィデリティ・ファンズ2ーグローバル・ディスカバリー・ファンド)に投資することにより、マスター・ファンドと同一の投資目的を追求することです。したがって、ファンドは、マスター・ファンドへの投資を目的としたフィーダー・ファンドです。

## サブ・ファンドの特色

- サブ・ファンドは、マスター・ファンドに投資を行います。
  - ・ マスター・ファンドの概要は、以下のとおりです。

目的	マスター・ファンドは、長期的な資本の成長を目指します。
投資方針	マスター・ファンドの資産の70%以上を、全世界のあらゆる資本規模の企業の株式に投資します。マスター・ファンドは、投資運用会社が割安と判断した成長の見込みがある株式に投資することを目指します。マスター・ファンドは、以下の割合に従って、以下の資産に投資することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国A株および中国B株(直接および／または間接) 合計20%未満</li> <li>・ 新興市場(中国を含む) 最大20%</li> <li>・ 短期金融商品 最大20%</li> </ul>
投資プロセス	マスター・ファンドの積極的な運用にあたり、投資運用会社は、成長および評価指標、企業財務、資本収益率、キャッシュ・フローおよびその他指標に加え、企業経営、業界の市況ならびにその他の要因を考慮します。投資運用会社は、投資プロセスにおいて、サステナビリティ・リスクを統合しません。
デリバティブ等	マスター・ファンドは、効率的なポートフォリオ管理目的で、デリバティブを使用することがあります。
ベンチマーク	MSCI World Small Cap Index。これはESG特色を考慮しないインデックスであり、パフォーマンス比較のためにのみ使用されます。
基準通貨	米ドル
投資運用会社名	FILファンド・マネジメント・リミテッド

- 企業内容の調査・分析にあたって、世界主要拠点のアナリストが独自に作成した企業調査情報を株式や債券の運用に活かしています。
- 株式の運用における運用哲学の基礎を、「ボトム・アップ・アプローチ」という調査・分析の手法にしています。「ボトム・アップ・アプローチ」とは、綿密な個別企業調査を行うことにより、企業の将来の成長性や財務内容等ファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 付随的に流動資産を保有することが適切と思われる場合、サブ・ファンドは、当該資産を、一時的に、満期までの残存期間が12か月未満の高格付の発行体により発行もしくは保証される短期金融商品または現金勘定もしくは預金勘定で維持することができます。
- サブ・ファンドは、デリバティブ取引を行いません。





# ファンドのリスク

サブ・ファンドは、マスター・ファンドを通じて有価証券等に投資を行います。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格は、組入有価証券等の値動き、組入有価証券等の発行企業の経営・財務状況の変化および為替相場等の影響(基準通貨以外の通貨や有価証券等に投資する場合)により変動しますので、これによりサブ・ファンドの受益証券1口当たり純資産価格も変動し、投資元本を割り込むことがあります。また、最終的な投資対象がサブ・ファンドの基準通貨以外の通貨建である場合には、当該通貨とサブ・ファンドの基準通貨との間の為替の値動きによっても、サブ・ファンドの受益証券1口当たり純資産価格は変動します。したがって、投資者の皆様は、投資元本は保証されているものではなく、受益証券1口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用および為替相場の変動による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

マスター・ファンドを通じた投資によるサブ・ファンドの受益証券1口当たり純資産価格の変動要因としては、主に以下のものが挙げられます。

## 株式リスク

株式は急速に価値を失う可能性があり、通常、債券や短期金融商品よりも高い(しばしば著しく高い)市場リスクを伴う可能性があります。企業が破産や同様の倒産手続を経ると、その株式はその価値のほとんどまたはすべてを失うことがあります。

## 市場リスク

多くの証券の価格および収益率は頻繁に変化し(場合によっては大幅な変動を伴い)、様々な要因に基づき下落する可能性があります。

## 為替リスク

マスター・ファンドが基準通貨以外の通貨建である資産を保有している場合、為替レートの変動により、投資収益が(場合によっては大幅に)減少したり、投資損失が(場合によっては大幅に)増加したりする可能性があります。投資主が申込みまたは買戻しをする通貨がマスター・ファンドの基準通貨と異なる場合、為替リスクを経験することがあります。基準通貨とクラス投資証券の通貨との間の為替レートの変動は、投資収益を(場合によっては大幅に)減少させたり、投資損失を(場合によっては大幅に)増加させたりする可能性があります。

## 新興市場リスク

新興市場は、先進国市場ほどには確立されておらず、より不安定です。新興市場は、より高いリスク(特に、市場リスク、信用リスク、低流動性証券リスク、法的リスク、保管リスク、評価リスクおよび為替リスク)を伴い、先進国市場では異常な市況に伴い発生するリスクを経験する可能性が高くなります。

## 流動性リスク

どの証券も、評価することまたは希望の時間および価格で販売することが一時的に難しくなる可能性があります。流動性リスクは、マスター・ファンドの価値および償還代金の支払能力または払戻能力に影響を与える可能性があります。

## デリバティブリスク

デリバティブの価格は変動しやすいです。原資産の価格の小さな変動は、デリバティブの価格に大きな変動をもたらし、マスター・ファンドをデリバティブ自体の費用を上回る損失にさらす可能性があります。

以上は、主なリスクを例示的に列挙したものであり、サブ・ファンドの受益証券1口当たり純資産価格に影響する要因は、上記のリスク要因に限定されるものではありません。

## その他の留意点

サブ・ファンドの取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

# ファンドの費用・税金(大和証券でお申込みの場合)

## ファンドの費用

■ お客さまが直接的に負担する費用		
ご購入(申込み)手数料	購入口数	手数料率
	10万口未満	3.30%(税抜3.0%)
	10万口以上50万口未満	1.65%(税抜1.5%)
	50万口以上100万口未満	1.10%(税抜1.0%)
	100万口以上	0.55%(税抜0.5%)
ご換金(買戻し)手数料	ありません。	

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
サブ・ファンドの管理報酬等 サブ・ファンドは、報酬および費用を負担しません(銀行手数料を除きます。)	
マスター・ファンドの管理報酬等 以下の管理報酬等がサブ・ファンドの投資先であるマスター・ファンドの資産より控除され、したがって、サブ・ファンドの受益証券の投資者が間接的に負担することとなります。	
投資運用報酬	マスター・ファンドのクラスA投資証券の純資産価額に対し、最大年率1.50%(毎月後払い)
保管報酬	フィデリティ・ファンズ2の資産を投資する市場に依拠して変動し、一般にフィデリティ・ファンズ2の純資産価額の年率0.003%から年率0.35%
管理報酬	フィデリティ・ファンズ2の純資産価額の年率0.35%を上限とする金額
その他の報酬・費用	管理会社報酬および諸経費(税金、委託手数料、仲介手数料その他の手数料、設立費、法律顧問の報酬および監査報酬等が含まれますが、これらに限定されません。)がマスター・ファンドの資産より控除され、したがって、投資者が間接的に負担することとなりますが、運用状況等により変動したり、料率等が開示されていなかったりするため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記をもとに、各販売取扱会社は、各販売取扱会社に帰属する純資産価額の年率0.7%の報酬を受領します。

※上記の手数料等の合計額については、投資者の皆様がサブ・ファンドの受益証券を保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

税金は、以下の表に記載の時期に適用されます。以下の表における税率は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税および住民税	配当所得として課税:分配金に対して20.315%(2038年1月1日以後は20%)
換金(買戻し)による譲渡時および償還時	所得税および住民税	譲渡所得として課税:譲渡益に対して20.315%(2038年1月1日以後は20%) サブ・ファンドの償還についても譲渡があったものとみなされ、譲渡益と同じ扱いとなります。

※上記は、2024年12月末日現在のものです。税法が改正された場合には、税率等が変更される場合があります。

※法人投資者の場合は上記とは異なります。益金不算入制度の適用は認められません。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お申込みメモ(大和証券でお申込みの場合)

形態	ルクセンブルグ籍/オープン・エンド型契約型公募外国投資信託(米ドル建)
日本における約定日	ご購入(申込み)注文の成立またはご換金(買戻し)注文の執行を日本における販売会社または販売取扱会社が確認した日(通常、発注日または買戻日の日本における翌営業日)
ご購入(申込み)単位	1口以上1口単位
ご購入(申込み)価格	買付注文の受領後に計算される受益証券1口当たり純資産価格
ご購入(申込み)代金	投資者は、日本における約定日から起算して日本における4営業日目までに申込金額および申込手数料を日本における販売会社または販売取扱会社に支払うものとします。 (注)日本における販売会社または販売取扱会社においては、ご購入(申込み)単位が金額の場合、口座毎に申込注文金額を受益証券1口当たりの純資産価格で除して算出した口数を合計することで申込口数の合計を算出することがあります(ただし、日本における販売会社または販売取扱会社が別途取り決める場合は除きます。)。一方、管理会社においては、日本における販売会社または販売取扱会社からの申込注文金額合計額を受益証券1口当たりの純資産価格で除し、申込口数の合計を算出することがあります。
ご換金(買戻し)単位	1口以上1口単位
ご換金(買戻し)価格	買戻請求受領後の評価日に決定される受益証券1口当たり純資産価格
ご換金(買戻し)代金	原則として、日本における約定日から起算して日本における4営業日目に、受渡しを行うものとします。
申込締切時間	日本における申込取扱時間、買戻請求取扱時間および転換取扱時間は、原則として、午後3時までとします。
ご購入・ご換金申込不可日	日本における販売会社および販売取扱会社の休業日に加えて、毎年1月1日、12月25日は、お申込みを取扱いません。その他、代行協会が必要と認める場合には、日本において申込みを取り扱わないことがあります。 また、申込受付を中止・取消する場合や換金に制限を設ける場合がありますので、詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
信託期間	フィデリティ・ワールド・ファンズおよびサブ・ファンドの存続期間は、無期限です。 なお、サブ・ファンドは、2024年8月29日に運用が開始されました。
繰上償還	フィデリティ・ワールド・ファンズは、管理会社および保管受託銀行の相互の合意により、いつでも解散することができます。
決算日	毎年4月30日
収益分配	分配金は支払われません。
課税関係	税法上、公募外国株式投資信託として取り扱われます。ただし、将来における税務当局の判断により、これと異なる取扱いがなされる可能性もあります。益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。サブ・ファンドは、NISAの対象ではありません。

※ ファンドの費用・税金、お申込みメモについて、詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

管理会社、登録および名義書換事務  
代行会社、管理事務代行会社

FIL・インバーストメント・マネジメント(ルクセンブルグ)  
グ・エス・エイ

代行協会および  
日本における販売会社

フィデリティ証券株式会社  
金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第152号  
【加入協会】日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

保管受託銀行

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ)  
エス・シー・エイ

販売取扱会社

大和証券株式会社



## ご注意点

- 本資料に記載の情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。また、投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。販売取扱会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。よって、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあります。これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)を必ずよくお読み下さい。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、各販売取扱会社またはフィデリティ証券までお問い合わせ下さい。なお、当ファンドの販売取扱会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.jp/fcp>)をご参照下さい。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ証券が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

※当資料はフィデリティ証券株式会社によって作成された投資信託商品販売用資料です。

IM241220-3 CSISK241223-1